

令和2年度 第1回介護・医療連携推進会議

令和2年8月19日（水）

15:00～15:30

さくらメディカル株式会社 さくらホームケアセンター

1. 開会のあいさつ

2. 出席者の紹介

- ・ご利用者家族様 1名
- ・鴨島2丁目町内会長（欠席）
- ・鴨島2丁目民生委員
- ・高田の郷地域包括支援センター
- ・さくらメディカル株式会社 介護部長代理
- ・訪問看護ステーション高田 看護所長
- ・さくらステーション高田 所長
- ・さくらステーション高田 計画作成責任者

3. サービス実施状況

(1) 利用状況

令和2年度	3月	4月	5月	6月	7月	8月
利用者数	13	14	13	12	13	10
随時対応	14	14	5	9	11	5
随時訪問	24	17	39	41	40	17

令和2年8月現在

令和2年3月～令和2年8月までの内訳

●随時対応 58件

- ・安否確認
- ・サービスに関して
- ・訪問看護への連携 など

●随時訪問 178件

- ・水分補給
- ・排泄介助
- ・更衣介助
- ・食事配下膳 など

## (2) 事例発表

「自宅で過ごしたい想いと安全・安心を求める家族に寄り添った事例」

男性 要介護2 認知症を患う要介護1 判定の妻との2人暮らし

H31.3月より介入。本人・妻は「自分たちのペースで過ごしたい、少しでも自宅で過ごす時間を持ちたい」、娘は「自宅で2人だけで過ごすことは心配。しかし遠方のためすぐには訪問できない」との意向。自宅をメインとし、デイサービス、ショートステイ、デイサロンを組み込む形での生活。

転倒の可能性が高まり、サービス見直し、調整しながら在宅生活を継続される。膀胱留置カテーテルが詰まるトラブルあり、予防のためにケアマネージャーを中心に意見交換。訪問の追加等対応。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染リスクを下げるためにも入所が安全と判断、ご夫婦とも納得され、お二人で入所の運びとなった。

## (3) 事故・苦情・状況報告書・ヒヤリハット事例報告

### 【ヒヤリハット事例】

要介護3 女性

入浴介助後、浴室から脱衣場へ移動。車椅子へ腰かける際、しっかりと方向転換しないまま座ろうとしたため、アームサポート（車椅子肘掛部）に当たりそうになった。

再発防止策：内出血や、以前に肋骨骨折をしたこともあり、移乗や座り方の助言、都度声掛けを実施。ヘルパー訪問時には確実に座るまで見守りや介助を行う。

## 4. さくらステーション高田の活動報告

新型コロナウイルス対策として、感染症対策本部を設置、マニュアルの作成

感染予防のための①石鹸による手洗い、アルコール消毒液使用②うがい③マスクの着用④毎日の健康チェックを実施・報告を徹底  
社有車内や事務所内の消毒も実施している

5/26 上越市市議会議員（9名）とコロナウィルスについてのヒヤリング・意見交換会

## 5. 質疑・応答

## 6. 閉会の挨拶

次回開催予定 令和3年2月